

犬は吠えるもの？



犬に関する苦情の中で多いのは「近所の犬の吠える声がうるさい」です。元々群れで生活する習性がある犬にとって、吠えることは仲間とコミュニケーションを取るため、また、なわばりや自分の身を守るために必要なことです。しかし、人間社会で生活する犬が過剰に吠えると、近隣に大きな迷惑をかけてしまいます。

犬が吠える原因が何であるかを飼い主が正しく理解することが重要です。

🐾 さみしくて

飼い主や家族が留守にして、長時間離れたり、普段の居場所が離れていたりすると、さみしくて吠えたり、呼び寄せたくて吠えたりします。

- ▶ 犬を室内で飼ったり、屋外であっても居場所を家族がいるリビングの近くにしたりして安心させる。
- ▶ 犬を連れて行ける場所には、できるだけ連れて行く。
- ▶ クレートトレーニング（※）などで適度な独立心を養う。

※クレート（犬の移動のためのケースなど）の中が犬にとってリラックスできる場所になるようにするトレーニングです。クレートの中に犬を入れ、布などで覆って飼い主が見えない状態でおやつを与え、鳴いても無視をします。最初は短時間で外に出し、徐々に中にいる時間を長くしていきます。



🐾 かまって欲しくて

飼い主の関心を引くために吠える犬もいます。そのため、吠えているときに飼い主が静かにするように叱っていたとしても、犬としては「吠えたらかまってもらえる」と覚えてしまうこともあります。

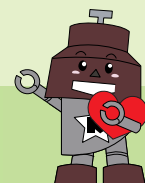
- ▶ 吠えているときは無視し、静かになったら犬の所へ行ってほめることを繰り返す。



🐾 散歩や食事を要求して

早朝の吠え声が近所迷惑になることを気にするあまり、飼い主が散歩や食事の要求吠えにに応じていると、犬としては吠えれば散歩や食事ができると覚えてしまい、余計にひどくなる場合があります。

- ▶ 要求吠えには応えない。
- ▶ 散歩や食事の時間を決めると、犬は「そろそろ呼ぶ時間」と思って吠え出すため、吠え始める時間が決まっていれば、その前に散歩に行ったり、食事を与えたりする。
- ▶ 散歩の前の飼い主の行動（リードを持つ、上着を着るなど）を散歩に行くとき以外にもするようにする。



🐾 退屈して

散歩、運動、遊びが足りず、退屈して吠える犬もいます。



- 犬種・年齢などに適した運動をさせたり、おもちゃで遊ばせたりする。
- 毎日、同じ時間、コースの散歩をすると単調になりがちであるため、散歩の内容に変化をつけることで犬に与える刺激を変える。

🐾 警戒して

なわばりへの侵入者に警戒して吠えることは本能的な行動です。来訪者に対して少し吠えるだけでなく、飼い主の制止を無視して吠え続けるのは、近所迷惑です。



- 宅配業者などに吠える場合は、視線を来訪者だけに向け、来訪者が立ち去った後も犬を無視して何事も無かったようにふるまう。
- 「静かに」など低い声で制止してみる。
- チャイムの音に反応して吠える場合は、家族が帰宅するときもチャイムを鳴らし、チャイムの音は知らない人だと関連付けないようにする。

🐾 他に考えられる原因

▪ 健康状態

病気やケガのため、痛くて吠えることもあります。日常の健康管理に気をつけましょう。

▪ リーダーシップ

飼い主の制止を無視して吠え続ける場合、犬がリーダーシップを発揮して家族やなわばりを守ろうとしているのかもしれませんが、犬に正しい接し方ができているかを家族で見直してみましょう。

▪ 急激な環境変化

引っ越し、家族が増えるなど生活環境の急激な変化に犬が混乱し、吠えることがあります。引っ越し前に新しい住居を犬と一緒に何度か訪れるようにしたり、出産などで家族が増えるときは、赤ちゃんの臭いがついているものなどをあらかじめ犬に嗅がせたりすることで、生活環境の変化による混乱はある程度軽減されます。

▪ 発情

普段は吠えない犬が、決まった時期にだけ吠えたり、性格が変わったりする場合は発情が原因かもしれません。飼い主は、不妊・去勢手術を受けさせるなどして犬の性行動もしっかりコントロールしなければなりません。

それでも、犬が吠えてしまうときは、ドッグトレーナー（犬の訓練士）や獣医師などの専門家に相談してみてください。

